

各地の自然災害で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

讚美歌誕生秘話「御顔を見ぬとき」

アメジジング・グレイスと聞いて知らない方はきっとおられないでしょう。その作詞者ジョン・ニュートンは、その生涯で多くの讚美歌の作詞を手がけました。「御顔を見ぬとき」もそのひとつです。

1764年に書かれた彼の自伝によると、最愛の妻ポーリーが重病にかかり、生死の境をさまよったとき、彼は神様を信じ、万が一妻の命が取り去られても、神様が支えてくださることを確信しました。そして、次の聖書の言葉によって、彼は力を与えられたのです。

そのとき、いちじくの木は花を咲かせず、
ぶどうの木は実をみのらせず、
オリーブの木も実りがなく、
畑は食物を出さない。

(中略)

しかし、私は主にあって喜び勇み、
私の救いの神にあって喜ぼう。
私の主、神は、私の力。
私の足を雌鹿のようにし、
私に高い所を歩ませる。

讚美歌「御顔を見ぬとき」も、彼がそのような人生の「冬」を通ったときに書かれたものだとされています。

私たちの人生にも「冬」が訪れます。季節の冬が必ずやってくるように、人生の「冬」も避けることができないでしょう。しかし、神様を信じるとき、私たちは力強く進むことができます。

1. 御顔を見ぬとき すべては意味なし
香りの良き花 声良き小鳥も
ああされどわが慕う 主在(いま)し給えば
師走(しわす)を五月と などは区別せん
2. 御声(みこえ)は聖なる 音楽も及ばず
大御名(おおみな)は稀(まれ)なる 香よりも妙なり
臨在(りんざい)にわが身の 涙は跡なく
わが内なるもの ただただ感謝す
3. 寒さも暑さも 市場も野原も
御側(みそば)にある身に すべては幸(さち)なり
よし 身は獄屋(ごくや)に 在りとも何かは
宮殿の中行く 安きにあるべし
4. ああわれの太陽 わが歌わが主よ
何ゆえわが冬 かくまで長きや
青空見ること 汝(な)が旨ならずば
冬なく雲なき 天国に逝かせよ

立春が過ぎて なお寒い日が続いています



教会のひとこま

成人祝福式

毎年、成人の日の前日、日曜日に礼拝の中で祝福式が行われます。今年は4名の新成人が一人一人牧師先生に手を置いていただき、これから神様の祝福の内に歩んでいくようお祈りしていただきました。



もちつき

すっかり恒例になったもちつき。新潟から送られた餅米を、老いも若きも一生懸命つき、つきたてのやわらかいもちを、おいしくいただきました。



INFORMATION

スプリング・イースター・コンサート Vol.7

3/26 (日) 16:00~ 入場無料
演奏: 藤丸 麗 (ピアノ)



はっぴいイースター in 宝塚 ギターコンサート&ワークショップ

4/22 (土) 14:00~
演奏&インストラクター: 井草聖二
コンサート: 入場無料
ワークショップ: 1,000円



ケアプラン
デイサービス
オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」
☎: 0797-73-6055
「デイサービス オリーブの実」
☎: 0797-73-6077

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

宝塚栄光教会

牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL: 0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com
http://www.takara-eikou.com

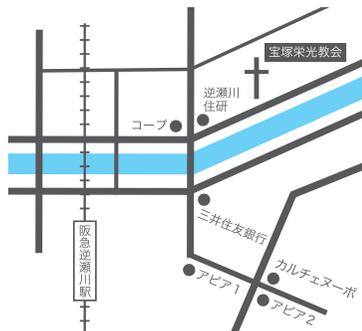
希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャストでも配信!
ホームページから利用できます。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



雪のように白く

一年で一番寒いと言われているシーズンです。先月は強い寒波が襲来して、宝塚のあたりでも雪が降りましたね。真っ白な雪は心を洗ってくれるような気がします。

聖書にこういう言葉があります。「たとい、あなたがたの罪が緋(ひ)のように赤くても、雪のように白くなる。たとい、紅のように赤くても、羊の毛のようになる。」(イザヤ書1章18節)
雪は白い。しかし、その雪よりも白いものがあります。それは、罪が赦された心です。

私たちは、真の神を知らず、神から遠く離れていました。聖書の言う罪とは、神から離れている心の状態のことです。私たちが人を憎んだり、恨んだり、傷付けたりするのは、真の神から離れているからです。神によって造られた私たちは、神から離れては生きていくことができません。罪を持ったままでは、私たちは滅んでしまうのです。

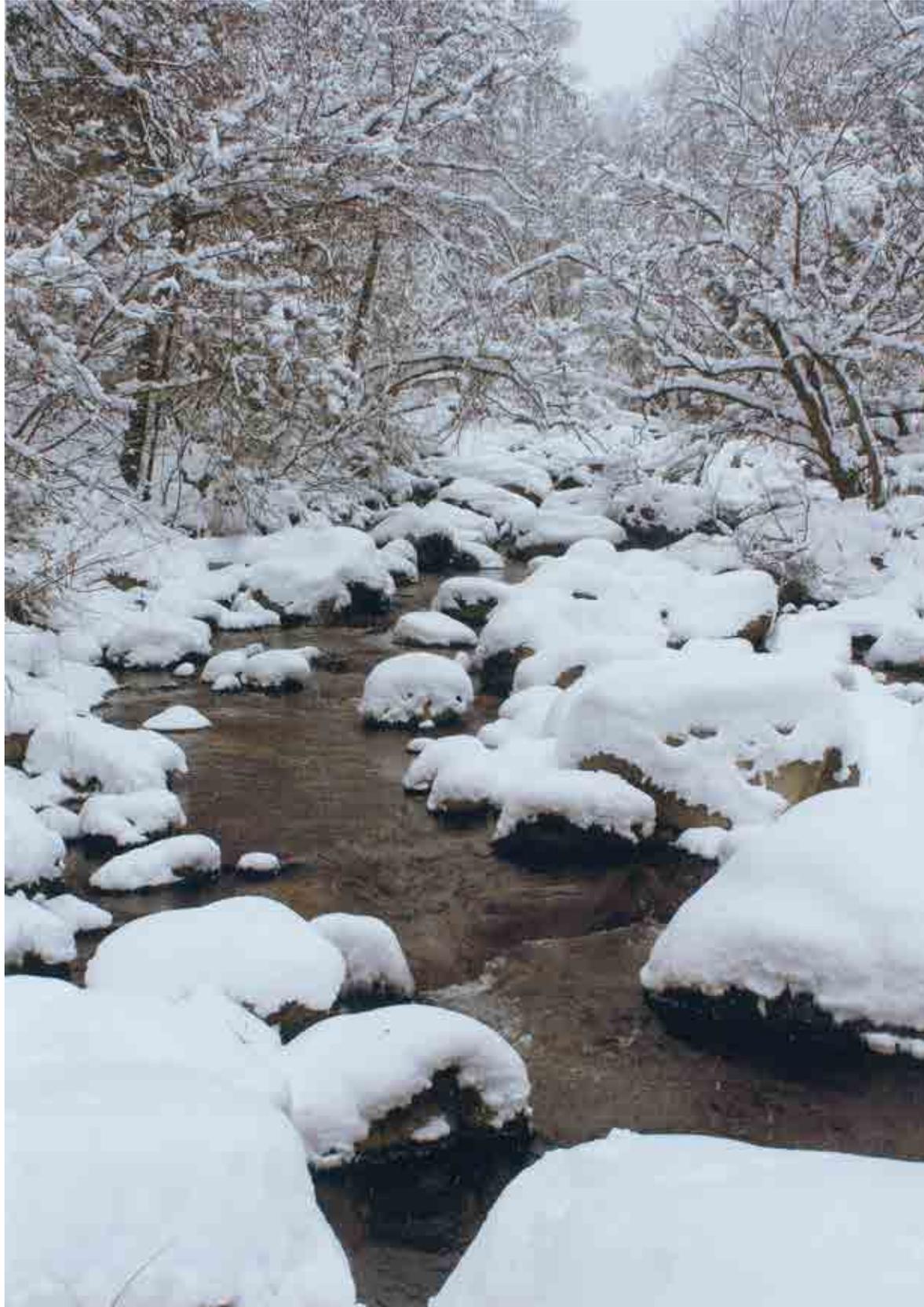
そんな私たちが、罪と滅びから救われるために、神はひとり子イエス・キリストをお送りくださいました。キリストは、罪のない神の子でしたのに、私たちのために、十字架に

かかってくださいました。

十字架刑というのは、極悪人が処せられる死刑の方法でした。普通、十字架につけられた罪人は、苦痛のためにわめきちらし、周囲の人々を呪いながら死んでいったのだそうです。しかし、キリストは、想像を絶する苦しみの中で「父よ、彼らをお赦してください…」と、相手のために執り成しながら死んでいかれたのです。

このキリストの十字架が自分の罪のためだったと信じるなら、誰でも、どんな罪でも赦され、救われることができます。私たちの罪は、そう簡単に赦されるものではありませんでした。「たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても」とありますが、私たちの罪の染みは、どんなに頑張っても消すことができないものでした。しかし、イエス様の十字架の血は、私たちの心から罪の染みを消し去り、雪よりも白くしてくださるのです。

あなたの心はいかがでしょうか。雪よりも白い心にしていただきませんか。そのままイエス様のもとにおいでください。



「 2月 」

新しい年が始まって 日の明け暮れの早さに
新鮮な驚きを覚えたのも 束の間
早や 2月を迎えた

昼間 雲が晴れて 陽光が差し込むと
窓辺のガラス越しには 春の光と思えるような
距離感に 心がゆれる
こんな2月の日々を 過ごしている

庭先の植え込みも 道端の草たちも
しんと降り続く 雪の下には
頭を垂れて 黙り込んでいたようにあったが
こんな光の日には 少しばかり 顔をあげて
目を細めているようにも 見えてくる

いきおい 外に出て 車を走らせる
山の麓に近づくと 風景は 雪の足跡

数日前に降った雪で 冬の川そのものだった

だが その時 耳に聞こえてきたのは 小さな 小さな水の音
水が流れている音だ
雪をとかす 水の調べは どんな名手も かなわない
春への希望を奏で 胸の中に 湧きあがらせる
春 遠からじ

天よ 喜び歌え 主のなされたことを
地の底よ 喜びの叫びをあげよ
山々も 森とその木々も 歓声をあげよ
主はヤコブを贖い イスラエルによって 輝きを現された

イザヤ44章 (聖書)